

KAMO Furusato Book

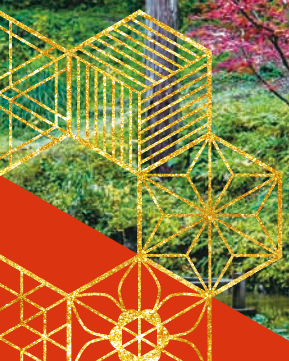


NIIGATA  KAMO CITY

加茂市
ふるさと納税



ふるさと加茂応援寄附金





歴史

北越の小京都と呼ばれる
歴史の面影残るまち

加茂の鎮守社・青海神社、上条、狭口エリアの鎮守社・長瀬神社は、両社とも平安時代に書かれた「延喜式神名帳(927年)」にすでに名が記されている歴史ある神社です。京都の賀茂神社の社領となり、青海神社の鎮座地に上賀茂神社と下鴨神社の祭神が分霊されたことから、このまちは「加茂」と呼ばれるようになりまし。戦国時代には上杉氏の支配下に、その後は新発田藩領になった歴史もあります。



青海神社
あおみじんじや

産業

職人の技術を結集
全国的評価の高い工芸品

加茂市は新潟県下でもまれな複合産業が集積したまちで、木工、繊維、電気器具、機械、金属、皮革製品、食品等の産業が新しい技術や設備を導入して躍進を続けています。「桐筆筒」といえば加茂と言われるほど、その技術と品質は、全国的に高い評価を受けています。また、欄間や襖などの建具の一部に組み込まれる組子細工は、その繊細さと美しさから芸術的評価も高い伝統工芸です。



組子
くみこ

加茂市って どんなまち!?

歴史と風土のなかで
育まれた美味

かりんとうや笹団子など、昔懐かしい味わいを感じられる和菓子屋さんが、歴史の面影残る加茂の市内に点在しています。酒蔵も3社あり、良質な米と清涼な水という恵まれた風土のなかで独自の味わいを追求しています。そして加茂市は美味しい米の産地としても知られ、加茂川の上流域に位置し、気温が低く昼夜の寒暖差が激しい七谷地区で育てられたコシヒカリは特に美味しいと言われています。



七谷産コシヒカリ
ななたにさんコシヒカリ

加茂川の川辺に市民が
集う。風光明媚な景観

加茂市の面積は約134平方キロメートル。東西約17キロメートル、南北約8キロメートル。東西に細長くかなり広く、東は山岳地帯になっています。その最高峰粟ヶ岳を水源に加茂川が市内を縦貫するように流れ、川辺は市民の憩いの場になっています。山間地で発見されたユキツバキは、今では加茂山公園でも群生し、新潟県の木として、また、加茂市の花として指定されています。



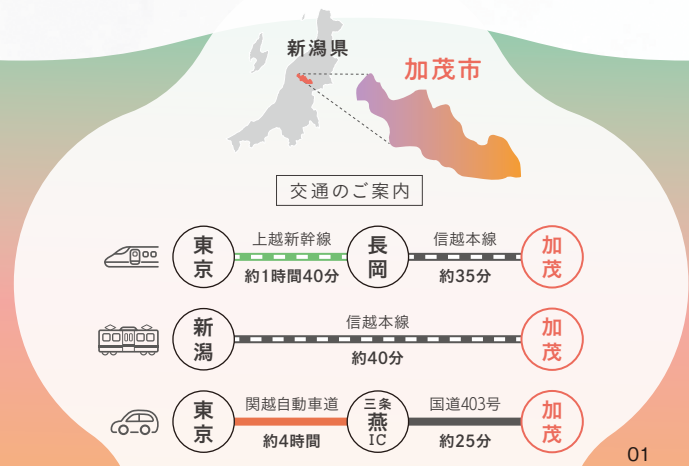
粟ヶ岳
あわがたけ

食

自然

ふるさと納税の使い道

- 市長にお任せ**
ふるさと加茂のために活用します。
- 環境衛生に関すること**
ごみ処理、自然保全などに活用します。
- 公園整備に関すること**
加茂山公園、リス園の維持管理などに活用します。
- まちづくりに関すること**
道路、防犯、交通安全などに活用します。
- 産業振興に関すること**
商工業、農業、観光などに活用します。
- 教育に関すること**
学習環境、スポーツ、国際交流、文化活動などに活用します。
- 福祉に関すること**
高齢者、障がい者、子育て支援などに活用します。



加茂市では、ふるさと納税でいただいた寄附金は、以上の事業に大切に活用させていただきます。寄附の際にご希望の使い道をお選びください。



加茂市の逸品
~Premium Collection~

「これ、いいカモ！」
Collection



桐箆笥

世紀を超え、次世代に
受け継がれるパートナー

加茂市は全国でも有数の桐箆笥の一大産地です。その歴史は古く200年以上前の江戸時代に、豊富にあった桐の木材資源を活用して製造を始めました。桐の木は湿度を調整する性質を持っており、また防虫効果もあるので、衣類を長期間保管するのに最適です。一つ一つの箆笥は手作業で丁寧に作られ、その美しさは時間と共に増していきます。100年以上長持ちし、古くなくても表面を削り、新しい命

を吹き込むことができるのも特徴で、まさに人生に寄り添い後世にも受け継ぐことのできるパートナーと言えます。職人の手作業による高い技術が認められて、通商産業大臣から「伝統的工芸品」の指定を受けました。加茂の桐箆笥は大きく分類すると衣裳箆笥、整理箆笥、洋服箆笥の3種類に分けられます。最近は、洋風化したライフスタイルにあう小袖箆笥の人気も高まっています。



詳しくはコチラ

細かな木片を組み合わせ
緻密な幾何学模様を生み出す

加茂は良質な杉材に恵まれていたこともあり、建具の技術が進化し、木工業界が産業を支えてきました。繊細な木片を組み合わせて緻密な幾何学模様を生み出す組子は、建具技法の中でも特に高度な技術が必要です。釘や金具・接着剤などを使わず、木の溝や角度をつけることで組んでいく職人技であり、平面に描くのではなく立体に作りこむことで、光の当たり具合によって刻々と変わる陰影も魅力のひとつです。近年は、組子の技法が取り入れられた照明スタンドなどの生活雑貨などが人気です。また、伝統的な和紙と建具の技術を組み合わせた美しい屏風の製造も盛んで、伝統的な金屏風だけでなく、現代の和洋の居住空間にも使える風よけや日よけとしての簾屏風、障子屏風、格子屏風なども作られています。建具職人の技術が発揮されたアイテムを日常生活に取り入れてみませんか。



詳しくはコチラ

米



名峰栗ヶ岳のミネラル豊富な 雪解け水が美味しさを育む

加茂市が位置するのは越後平野のほぼ中央。春になると標高1292メートルの栗ヶ岳などの山から、ミネラル豊富な雪解け水が加茂川の清流となつて雄大な信濃川に注ぎ込みます。そんな山水の恩恵を存分に受けて育っているから、加茂で生産される米は美味しいといわれているのです。噛めば噛むほど増す濃厚な甘みともっちりとした食感が印象的で、どんなおかずとも相性抜群です。また、加茂市の山

間部、七谷地区は知る人ぞ知るコシヒカリの名産地で、ここで栽培されるコシヒカリは全国的に名高い魚沼産コシヒカリに引けを取らない美味しさともいわれています。平地よりも平均気温が1〜2度ほど低く、昼夜の寒暖差が激しい環境、そして豪雪地帯の清らかな雪解け水——。そんな条件が揃ったことで甘みとうま味が増すのです。農家さんが丹精込めて育てた加茂の米をご賞味あれ。



詳しくはコチラ

滑らかな食感と上品な芳香 糖度の高い幻の西洋梨

ルレクチエは、フランスのオルレアンという地方から新潟県に導入された西洋梨の品種で、栽培が難しく生産量が少ないことから「幻の西洋梨」ともいわれています。山形県で栽培されるラ・フランスと同じく、見た目の形はいわゆる洋梨型をしています。味や香りは異なり、果糖をたくさん含んでいるため糖度が高く甘みが強いのが特徴です。また、香りはラ・フランスよりもかなり強く、熟すにつれて包装している

もわかるほどの芳醇な香りが漂います。とろけるような食感が特徴のルレクチエの収穫は10月中旬頃。追熟が必要な手間のかかる果実で、そこから約40日後の11月下旬から12月の年末にかけて出荷されます。加茂市は日照時間や気温、肥沃な土壌など、栽培に適していることから、ルレクチエの産地としても知られています。地域の気候条件と農家の努力が結集して実った、希少かつ美味しい果物です。



詳しくはコチラ

ルレクチエ





革靴



詳しくはコチラ

リーガルブランドは、その高品質と洗練されたデザインで知られる日本の靴ブランド。1961年に米国を代表するブランド社（現クラレス社）とライセンス契約を締結し、リーガルブランドが日本で産声を上げました。製造工程の一つが手作業で行なわれ、その耐久性と修理のしやすさ、そしてファッション性が高く評価され、ビジネスシーンをはじめとする様々な場面で、実に60年以上愛用されています。

国内工場ではリーガルのビジネスラインを中心に生産され、加茂市にあるチヨダシューズ株式会社の新潟工場では、リーガルの主力製品が作られています。ここでは、最新の設備と熟練した職人の技術が結集されています。各工程において専門的な技術の維持、徹底的な品質管理をはじめ、クラフツマンシップを基本にした実直な靴づくりを行なっています。

熟練の技術で作られる 国内随一の革靴ブランド



炊飯器

日本の食卓を支えてきた 進化し続ける炊飯器

米どころ新潟県のなかでも優良な米が育つ地とされる加茂市。この美味しい米を最良の状態にたたくには、炊飯器の品質も重要です。東芝炊飯器の最上位モデルは、内回り・外回りに対流の回転方向を切り替える独自の熱対流で内釜全体をしっかりと加熱し、ふっくらした炊き上がりを実現。真空機能により圧力差で米の芯まで熱が伝わり、甘みを引き出して冷めても美味しいと評判で

す。さらにそのインテリアのような美しいデザイン性も人気の理由です。実は、この東芝の炊飯器、国内に流通する商品の多くが、加茂市にある「東芝ホームテクノ」で製造されています。真空圧力IH式、真空IH式、IH式、マイコン式、小容量タイプなど、用途や生活スタイルによって選ぶことが可能です。高い品質と信頼性から多くの家庭で愛用されている東芝の炊飯器で加茂の米を味わう—そんな至福の食事体験を。



詳しくはコチラ

日本酒



加茂の自然に育まれた 新潟を代表する3つの酒蔵

名峰粟ヶ岳を源流とする清流をいかし、加茂市には3つの酒蔵が酒造りに励んでいます。雪椿酒造は1806年創業。2000年以上の歴史を持つ蔵元です。加茂山公園に自生するユキツバキの花から採取した酵母・雪椿酵母で醸す独自の酒造りに挑戦。『越乃雪椿』が代表銘柄です。山田錦を精白40%まで磨きあげた純米大吟醸『月の玉響』は鮮烈な味わいで人気です。次に、『萬寿鏡』で知られる酒造会社がマスカガ

ミ。『J50』は酒米の越淡麗を50%まで精米した純米大吟醸です。また、一升の陶器製の甕に入った酒をひしゃくで注ぎあうという『甕覗』という遊び心溢れた酒もあります。そして、現代の食卓に合う日常的に飲める酒造りを目指しているのが加茂錦酒造。フレッシュ感と柔らかさのバランスがよく、抑え気味の甘さが特徴の『荷札酒』などが人気です。良質な米と清涼な水から醸し出される一品をお試しください。



詳しくはコチラ



足からの健康に着目した 丈夫で長持ちの靴下

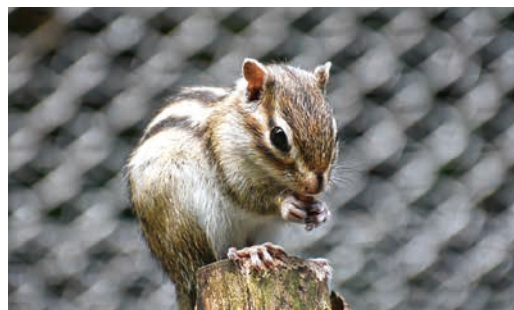
山忠は加茂市に本拠を置く靴下メーカー。1958年に創業。創業者はたった一台の靴下編み機で靴下を作り、売り歩いたところから始まりました。以来、『靴の下に履きただの靴下』から、健康寿命を延ばすための『フットヘルスウェア』へと位置付けて商品製造。雪国新潟で「あっためること」を真面目に考え続けるもの作り会社として成長してきました。「冷え」から来る女性の不調に着目して開発された「シル

ク5本指ソックス」は大いに注目されました。また、履いても履いても破れにくい、擦切れにくい、とその品質の良さも、山忠が支持され続けている所以です。ガサガサのかかとをツルツルにする靴下『足うら美人』、足の専門家と共同研究を重ね、足から健康へ導く『ケアソク』…など、足と健康のお悩みを解決するオリジナルブランドを豊富に展開しています。



詳しくはコチラ

加茂山公園
かもやまこうえん



遊ぶ

ACCESS JR加茂駅から徒歩5分

街近くにある
市民憩いの場

加茂市街地のすぐそばに広がり、市民の憩いの場として親しまれている自然豊かな公園。園内には彫刻の森や、木々の中を颯爽と滑り降りる大型スライダー、かわいいシマリスがいるリス園も人気。

tel.0256-52-0080 (加茂市建設課)
加茂市大字加茂228
リス園は10:00~16:00
リス園は月(祝の場合は翌日)休
P60台



BBC Kamo
Myragemono Center
ビービーシーカモミヤゲモノセンター



散策

ACCESS JR加茂駅から徒歩5分

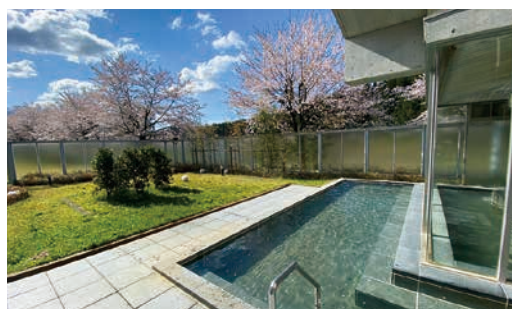
食べ応え満点のドーナツは
コーヒーと一緒に

加茂市の穀町商店街にある土産物店に併設されたカフェのおすすめメニューはドーナツ。国産・フランス産小麦粉をブレンドして作るもちり食感の生地が特徴。こだわりの豆でいれるコーヒーと一緒にどうぞ。

tel.0256-57-1020
加茂市穀町8-27
11:00~17:00
水・木曜定休、不定休あり
P商店街駐車場有



加茂七谷温泉
美人の湯
かもななたにおんせんびじんのゆ



温泉

ACCESS 三条燕ICから車で50分

抜群のロケーションで
ゆったり

名峰・粟ヶ岳の景色と温泉を一度に楽しめる日帰り湯。スタイリッシュな造りでも人気で、「美人の湯」の名の通り、なめらかな肌触りの温泉が女性に好評。抜群のロケーションでゆったり過ごしたい。

tel.0256-41-4122
加茂市宮宮上13-1
10:00~21:00(受付は~20:30)
食堂は11:00~LO13:30/
17:00~LO19:30。
土日祝は11:00~LO19:30
第2・4水休 P210台



加茂に来たら寄ってみて
加茂市
立ち寄りスポット

青海神社
あおみじんじや



見る

ACCESS JR加茂駅から徒歩5分

安産・子育ての神さま

加茂を中心に、三条・田上などの一帯の総鎮守として726年に創建。京都の上賀茂神社、下鴨神社の御分霊をまつる由緒ある神社でもある。安産・子育ての神としても有名な、隠れたパワースポット。

tel.0256-52-0671
加茂市大字加茂229
9:00~16:00(祈禱時間)
無休
P70台



その他の主なイベント

5月20~21日	青海神社春季祭礼(加茂まつり)	8月31日~9月1日	青海神社秋季祭礼
6月14~15日	長瀬神社春季祭礼(上条まつり)	9月14~15日	長瀬神社秋季祭礼
8月	越後加茂川夏祭り	11月3日	粟ヶ岳山開い(加茂側)

加茂市注目イベント

加茂市には、自然の豊かさや継承される伝統文化を体感できるイベントが数多くあります。家族みんなで加茂市へお出かけください。



4月29日

粟ヶ岳山開き (加茂側)

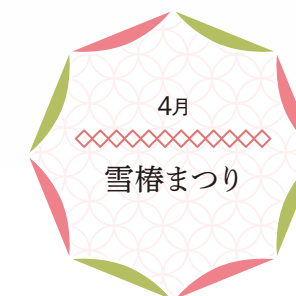
標高1292m。日本三百名山にも選定されている粟ヶ岳。四季折々の美しい花が咲き、天気良ければ佐渡島や能登半島まで眺める登山客に人気の山です。毎年4月29日の山開きでは、安全祈願祭が行われます。



11月

炭焼き体験

毎年秋に粟ヶ岳県民休養地の炭焼き小屋で開催。3日間焼かれた岳炭を真っ赤に燃える窯から取り出すというかなり熱い作業ですが、古くから伝わる炭焼きの技術を直接体験できるとあって、紅葉とあわせて参加する人が多くいます。



4月

雪椿まつり

ユキツバキが「新潟県の木」に指定されたことをきっかけに昭和42年からスタート。ユキツバキが群生する加茂山公園をメイン会場に、形を変えながら、加茂のまちを多くの人の笑顔で彩るため、多彩なイベントを開催しています。



4月上旬~5月上旬

加茂川を泳ぐ 鯉のぼり

加茂市内の中心を流れる加茂川の上空を約500匹の鯉のぼりが泳ぐ、春の加茂川の風物詩。青空の下を色鮮やかな鯉のぼりが泳ぐ姿は壮観で、期間中は見物客で大賑わいです。



新潟県越後平野の中央に位置し
北越の小京都とも称される
歴史の面影残る加茂市。
名峰粟ヶ岳がそびえ
春には雪椿が咲き誇ります。
桐箆筒、組子細工といった
伝統工芸も盛んで
お米や日本酒など
美食の宝庫でもあります。
加茂市の魅力
ぜひ体感してください。



写真協力: フォトスタジオ クリエイト 渡部 良平

— ふるさと納税のお申し込み —

インターネットからのお申し込み

加茂市では次のポータルサイトからふるさと納税をすることができます。

 **ふるさとチョイス**


<https://www.furusato-tax.jp/city/product/15209>



Rakuten 楽天ふるさと納税

<https://www.rakuten.co.jp/f152099-kamo/>



 **さとふる**

<https://www.satofull.jp/city-kamo-niigata/>



百貨店・イケア・こだわりの商品
三越伊勢丹ふるさと納税

<https://mifusato.jp/j/152099.html>

 **ふるなび**

<https://furusato-navi.jp/Municipal/Product/Search?municipalid=730>



JRE MALL JREと納税
JR東日本

<https://furusato.jrenet.jp/furusato/municipality/detail/f138>



郵送・FAXによるお申し込み 下記までお問い合わせください。

新潟県加茂市 

加茂市役所商工観光課 ふるさと寄付金係

〒959-1392 新潟県加茂市幸町 2-3-5 TEL:0256-52-0080 FAX:0256-53-4676 MAIL:syoko@city.kamo.niigata.jp

2024年3月